



小林ゼミ

オフィスアワー

募集ガイダンス

小林ゼミの メンバー構成

平成28年10月現在

大学院生：5名

学部生：22名（男19名，女3名）

進学予定：2名

大学院棟3階：エレベーター前

K棟北棟2階：TK211

ほぼ毎日，誰かが使っています

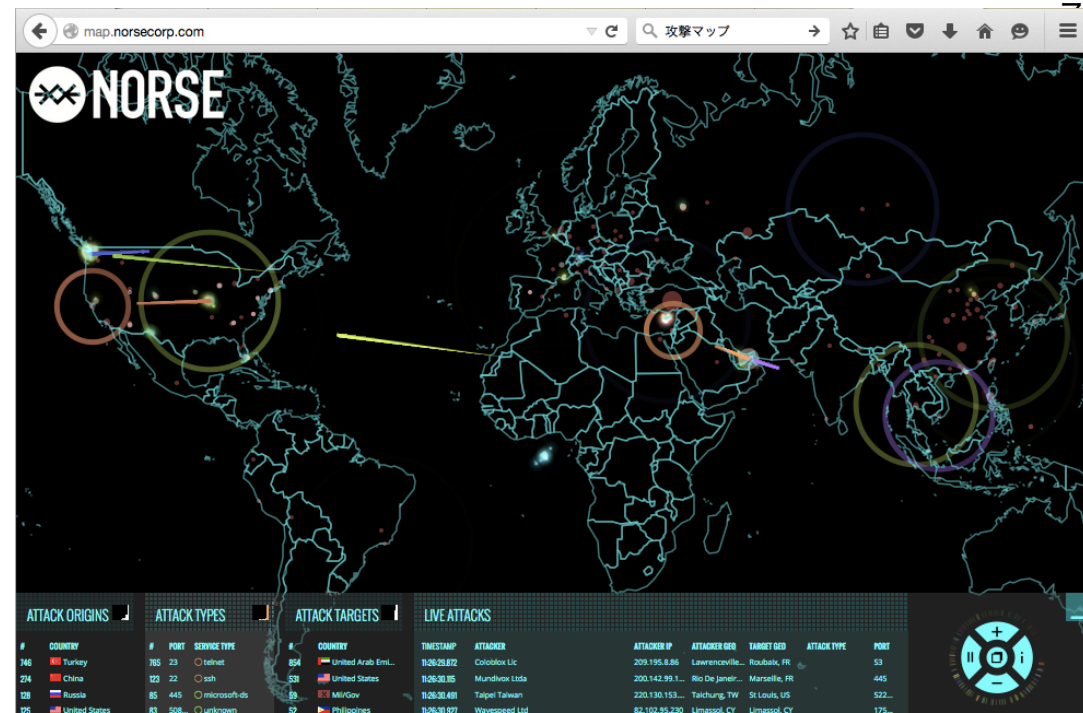
ゼミ生の進路

- ・ 分類でいうと「情報サービス業」がほとんど
 - 総合情報学部全体でも半数程度が「情報サービス業」
- ・ 具体的な事業
 - システム・インテグレーター（Sier：えす・あい・あー）
 - ソフトウェア開発事業
 - 大手インフラ事業
 - 通信，電力，ガス，運輸，金融機関等，及びそれらの関連会社
- ・ その他
 - 教員（高校），地方公共団体，など・・・

ゼミの研究内容と 活動内容

学生の研究内容

- ・ コンピュータ利用技術
 - Web利用の脆弱性対策
 - ソフトウェア開発
 - スпам対策
- ・ ネットワーク運用技術
 - 侵入検知
 - トラフィック解析
 - P2P（を利用した各種情報システムの開発）
- ・ その他のテーマについてはゼミのホームページを参照してください
 - <http://www.firefly.kutc.kansai-u.ac.jp/>



ゼミ運営

- ・ 主体は学生自身
 - 小林の仕事は，学生のやりたいことをサポートし，卒業できるレベルに持っていくこと
 - 黙ってたら，何も進まない
- ・ たくさん勉強してください
 - ゼミのメンバーとたくさん話しをしてください

ゼミでの活動（毎週のゼミの時間: 年間20数回）

- ・ 3月末
 - 勉強会・研究紹介（大学院生，新4回生から）

- ・ 3回生春学期

卒論追っかけ・進捗報告

- ・ 3回生秋学期

研究進捗報告

- ・ 4回生春学期

研究進捗報告（，就職活動）

- ・ 4回生秋学期

研究進捗報告（，就職活動）

☆夏期休暇中

全体報告会

学外のイベント参加

（ゼミ合宿？）

インシデントレスポンス大会

ゼミでの活動（毎週ゼミの時間以外：年間300日以上）

- ・ アイディア出し

- 過去の研究を発展させるアイディア
- 新しい仕組み・システムを開発するためのアイディア

- ・ 研究のための勉強

- プログラミング（それ自体を目的にはしない，あくまでも研究を遂行していく中で，プログラミングを学ぶ）
- 文献調査（英文・和文，問わず．Web上の記事ではない）

- ・ 他人の書いた論文を読んで理解する

- ・ 自分のやりたいことの「立ち位置」を確認する

- ・ システムの（構築・開発・）調整・実験

- 自分のやりたいことを実現するための必須事項
- これがないと，議論にならない

ゼミでの活動（毎週ゼミの時間以外：年間300日以上）

- ・ 毎週の報告書の執筆・・・毎週報告（研究以外のいろいろなことも含めて）
 - ゼミの時間の直前に「ちょっとだけ」研究っぽいことをすることの防止
- ・ ゼミのメンバーとの対話
 - お互いに信頼関係を結ぶ
 - 最も相談しやすい関係づくり
- ・ その他プロジェクトの遂行
 - コンテスト関係の勉強会,
- K棟演習室はいつでも使ってもらって構わない
 - ゼミ生と一緒に過ごす時間を多くとってもらいたい

注意事項

「ゼミ」というもの

- ・ 講義・実習のように考えてもらっては困る
 - 「出席すれば単位がもらえる」ものではない
 - ゼミの時間だけでは研究は進まないし、小林とマン・ツー・マンでもやらない
 - 一人でやってても大したことはできない
- ・ テーマに関しては知らないこと」がたくさんあると思う
 - ・ 知らないまま放っておく≡卒業できない
 - ・ 「知らなかったことがわかるようになる」「できなかったことができるようになる」楽しみを体感してほしい
 - ・ 分からないことは分かる人に聞くなどして、解決するように努めること

『志望理由欄』 記入事項

- ・ 本演習を特に希望する理由
 - 何故，小林ゼミに入りたいか
 - 本演習に対する意気込み，実現したいことまたは興味を持っていること
 - ホームページに掲載している研究テーマの中，もしくは関連する事項で，やってみたいこと／興味を持ったことについて，漠然としたものでよいので，これからやろうとすることをまとめる
- ・ 卒業後の進路希望
 - 大学院進学を推奨します
- ・ 募集に関する課題はありません